

令和4年度 長崎県の取り組みの経過と今後の予定

長崎県特別支援教育研究会
会長 松尾 徳男

1 研修・研究活動の計画

期日	活動名
5月16日(月)	令和4年度長崎県特別支援教育研究会第1回役員会 →集合開催
6月17日(金)	令和4年度長崎県特別支援教育研究会第2回役員会 →集合開催
8月4日(木)	第33回長崎県特別支援教育研究会総会及び研究大会 →集合研修は中止、総会は書面、講演及び分科会はWeb開催(オンデマンド配信)
10月7日(金)	令和4年度長崎県特別支援教育研究会第3回役員会 →集合開催
10月27日(木)	令和4年度長崎県特別支援教育研究会秋季研修会 →集合開催
2月17日(金)	令和4年度長崎県特別支援教育研究会第4回役員会 →集合開催予定

2 活動の概要

(1) 第33回長崎県特別支援教育研究会総会及び研究大会

講師	小島 道生 先生(筑波大学人間系 准教授)	参加人数	収録時 約 50名
え	1 集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	『知的障害・発達障害児の自己理解と支援』		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集合研修で計画していたがコロナ感染症の感染状況拡大により書面及び動画配信に変更した。 ・総会は書面による開催、講演及び分科会は8月4日に各担当校で収録を行い、YouTubeによるオンデマンド配信を9月末まで会員向けに行った。 ・講師には本校に来校いただき、講演及び第一分科会の助言者として登壇いただいた。 		

(2) 令和4年度長崎県特別支援教育研究会秋季研修会

講師	前田 和明 先生(田川療養所 診療部心理室長)	参加人数	93名
実施形式	1 集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	『知的・発達障害児の生活習慣と学校』		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を講じて3年ぶりに集合研修で実施した。 ・講演内容を収録しYouTubeによるオンデマンド配信を11月末まで会員向けに行った。 		

3 今年度の成果と課題

(1) 今年度の成果

- ① 研究大会は昨年に引き続き集合研修を中止しWeb開催とした。昨年は書面開催だった分科会を、発表担当校の協力によって動画収録を行い、講演とともにオンデマンド配信することができた。オンデマンド配信については「時間の制約が無いのでじっくり視聴できた」「いろいろな実践発表を知ることができた」「島地区など参加が難しい遠隔地でも研修の機会となった」など肯定的な意見が多く、Web研修のメリットを確認することができた。
- ② 秋季研修会は3年ぶりに集合研修で実施できた。開催時期や講演内容がニーズに合っていたためか、多数の小中学校や高等学校所属会員の参加があった。
- ③ 本会の専用ホームページを9月に開設し、会員向けの情報発信ツールとして活用できるようになった。今後もホームページ活用の幅を広げていきたい。

(2) 今後の課題

- ① 引き続き感染対策を考慮しながらの運営となるため、事務局校の調整力や発表担当校の柔軟な対応が必要である。事務局校の引継ぎをしっかりと行い、何事も早めの対応を心掛けるようにしたい。
- ② 本会会員への研修機会提供の観点から、従来通りの集合研修にこだわらずWeb活用のメリットを考慮

した多様な研修の在り方を模索していく必要がある。

- ③ 専用ホームページについては、現在は主に会員向けの情報発信にとどまっているが、次年度に向けて新規会員の加入手続きを簡素化するツールとなるための工夫が必要である。また、令和7年度九特連長崎大会に向けての有効な情報発信ツールとなるよう、事務局としてホームページ管理の在り方を確立する必要がある。